

# 技の守り人 匠会通信

越後与板打刃物匠会

No.32 2018/6/21

さあ、6月はあらたなスタートです！



匠会の活動は、今年上野でのイベントが時期がずれて参加できなくなったため、6月のキャンドルナイトを皮切りに始動しました。与板地域の若者世代が企画運営するキャンドルナイトも、たちばな公園 BBQ 園を会場にして多くの人出がありました。

与板産ノミを使っての香木を削る「キツツキ体験」、子どもの姿をスマホで撮影するママたちの賑やかな笑い声がひびきました。



夜はロマンチックなキャンドルの火影が揺れて。灯りを楽しむイベントはすっかり与板の風物詩になりました。

体験工房の2年目満員御礼でスタート！

昨年開館の与板鍛冶体験工房。2年目の今年は給湯機に冷蔵庫、集塵機やクーラーなど工房内の設備も充実させてのスタートとなりました。

6月16日の初回は、市内から2名上越から1名東京と埼玉から2名の計5名が、切り出し小刀づくりを体験しました。初日ということもあり、指導の当番でない会員の姿や見学者、そして取材のカメラなども入

って、工房内は活気に満ちていました。

嬉しかったことは、体験参加者の中には昨年の木工教室に参加した方がお二人、今度は製作の現場を体験したいと駆けつけて下さったことです。

次回の30日もすでに定員いっぱいの申し込みがあり、指導する鍛冶衆の皆さんも張り合いが出ます。何とか力を合わせながら今年の体験工房をしっかりと運営していきたいものですね。



島田クンの成長を今年も皆で見守ります！



6月でちょうど1年が経過した地域おこし協力隊員の島田拓弥クン。支所だよりも取り上げられて地域デビューを果たし、毎日熱心に技術の習得に励んでいます。与板打刃物の新たな活力として、ことしもイベントや工房に活躍します。がんばれ！ 島田クン！